



東の風

なかよく かしこく たくましく がんばる

令和4年 10月14日 発行者 平野紀子 <http://www.ueis.ed.jp/school/higashi/>



【小中あいさつ運動】

★2学期がスタートしました★

13日は、肌寒い一日となりましたが、子供たちの元気な様子を見てうれしく思いました。秋休み期間中は、ご家庭や地域で子供たちを見守っていただき、大変お世話になりました。2学期は、校内百人一首大会や音楽フェスタなど、東小の特色ある教育活動が行われます。それぞれの行事を通して、子供たちのよさや頑張りにより一層発揮されるよう学校全体として取り組んでいきたいと思ひます。今後も保護者や地域の皆様と一緒に教育活動を進めてまいりたいと思ひますので、どうぞよろしくお願いいたしします。

☆児童の作文発表：2学期の目標

【3年：I・Kさん】

2学期にがんばりたいことは2つあります。

1つ目は、勉強をしっかりとがんばることです。1学きは、勉強をやってもすぐにあきてしまい、しゅう中できないことがありました。テストに、ばつがあると、とてもくやしい気持ちになります。でも、全部が丸だと、とてもうれしいです。2学期は、全部のテストで百点をとれるくらいにがんばりたいと思ひます。

2つ目は、百人一首をがんばることです。百首もおぼえるのは時間もかかるし、とても大へんです。でも、おぼえた百人一首を言っていたら、いろいろな人から、

「百人一首言えるの、すごいね。がんばっているね。」

と、ほめられたことがあります。そのときは、とてもうれしかったです。東小には、百人一首がとても強い人たちがたくさんいます。4年生になって大会に出るためにも、たくさんおぼえて札を早くとれるようにがんばりたいです。

2学きも、楽しく明るくえがおいっぱいがんばりたいと思ひます。

【6年：T・Mさん】

2学期にがんばりたいことは3つあります。

まず、学習面です。私は、授業中にいつも意識していることがあります。それは、先生の話や友達の発表を聞いて、大切だと思ったことをノートにメモすることです。1学期もしっかり取り組むことが出来たので、続けてやっていきたいです。また、練習問題やテストでのケアレスミスが減らすために、問題をよく読み見直しをしっかりとしていきたいです。

次に、委員会とクラブ活動です。1学期の活動では、6年生らしい行動があまりとれませんでした。最高学年なので、下級生の手本になれるように、自分のすることに自信をもって行動できるようになりたいです。もっと他学年の人とも交流したいです。

最後に、音楽フェスタです。去年は、力不足で自分がやりたい楽器を演奏することができませんでした。今年は、小学校最後なので、自分がやりたい楽器で演奏できるように一生けん命練習したいです。

2学期は、1学期以上にいろいろなことに挑戦して、残りの小学校生活を悔いなく過ごしたいです。そして、一緒に過ごしている友達と最高の思い出ができるように、一日一日を大切に過ごしたいです。

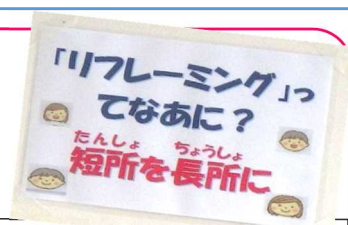
東小スマイルプロジェクトに向けて

東小の子供たちの笑顔が輝き、周囲の人にも笑顔につながっていくように、「東小スマイルプロジェクト」として、2学期に皆で頑張る目標を4つあげました。

- ①いつでも だれにでも 明るいあいさつをしよう。
- ②話をよく聞いたり、自分の意見を進んで発表したりしよう。
- ③自分や友達のよいところをみつけて、いかし合おう。
- ④百人一首を進んでおぼえよう。

特に、③の互いのよいところを見付けることについては、「リフレーミング」の話を伝え、短所と思ひ込んでいることも、見方や考え方を変えることで長所になることを伝えました。

様々な場面で、一人一人の持ち味が活かされるよう支援してまいりますので、ご家庭でもぜひよさを認め励ましていただければと思ひます。



【リフレーミングの例】

- ・おとなしい → 穏やかで、人の話をよく聞く
- ・あわてんぼう → すぐに行動できる
- ・うるさい → 活発で元気がよい
- ・マイペース → 自分の好きなことがある など

百人一首ゆかりの地 宇都宮 と 東小



和歌を愛した宇都宮5代城主 宇都宮頼綱(蓮生)

鎌倉時代の宇都宮城5代城主「宇都宮頼綱」は、鎌倉幕府から謀反の疑いをかけられ、出家して京都に移り住みました。名を蓮生(れんしょう)と改名しました。

もともと和歌が好きだった蓮生は、京都で藤原定家(ふじわらさだいえ)という歌人と親しくなり、ますます和歌が好きになりました。蓮生の娘と定家の息子が結婚し、親戚関係にもなりました。

当時、和歌をしたためた色紙をふすまに貼ることが流行しており、蓮生は、京都の小倉山にある自分の別荘に貼る色紙を選ぶよう、定家に依頼しました。

こうして選ばれた素晴らしい和歌が、現在の小倉百人一首として伝えられています。宇都宮市では、百人一首にゆかりが深いということで、平成7年から「うつのみや百人一首市民大会」を開催しています。

東小での百人一首への取り組み

東地区の清巖寺には、頼綱の供養塔といわれる墓があります。また、市立小・中学校でも授業の中で百人一首に取り組むようになり、東小学校でも平成24年度から全校体制で学習に位置付けて計画的に行っています。「校内百人一首大会」の実施や「うつのみや百人一首大会」への参加など、学年に応じて百人一首に親しんでいます。

- ① 1・2年生の国語科、3～6年生の総合的な学習の時間の中に、百人一首を学ぶための時間を確保し、発達段階に応じた指導を計画的に行っています。
1年生…かるた遊びから百人一首へ(10～20首) 2年生…20～40首 3年生…40～70首
4年生…70～100首 5・6年生…100首
- ② 4～6年生は、3～4名でチームを組み、学級や学年、校内で百人一首大会を行います。
- ③ 詠み上げ機「ありあけ」等を活用して、百人一首独特の詠み方に親しむことができますようにしています。

百人一首を学ぶことでの教育的効果

- ① 日本文化にふれるとともに、百人一首とゆかりの深い郷土である宇都宮市や本校を誇りに思う心が育つ。
- ② ゲーム感覚で楽しみながら歴史的仮名遣いに対する基礎知識が身に付き、古文への抵抗感が少なくなる。
- ③ 練習や競技を通して、暗記力や集中力、持続力、聴く力、判断力等が育つとともに、礼儀を重んじる心が育つ。
- ④ 学年や異学年、競技会等で多くの児童や世代、性別を超えた交流を深めることができる。

校内百人一首大会 10月22日(土) 9:30～10:15

・1～2年 百人一首に関する授業 ・3～6年 百人一首大会

※詳細につきましては、9月22日に配付したプリントをご覧ください。

ぜひ、子供たちの様子をご覧ください。ご家庭でも話題にしていただければと思います。

【ふれあい文化体験教室での6年生の様子】:詠み手の声に集中して、札に反応する子供たち

